

発信日：令和8年（2026年）9月25日（金）

発信元：つくば市 市長公室 広報戦略課

■取材依頼 □周知依頼 □募集告知 □その他

第68次南極地域観測隊員による市長表敬訪問



第68次南極地域観測隊員に決定したつくば市に縁のある隊員が、以下のとおり市長を表敬訪問します。

【日時】 令和8年10月5日（月）13:00～

【場所】 つくば市役所 5階 庁議室

【訪問者】

第68次南極地域観測隊

越冬隊	しまむら しょう 島村 翔	隊員（気象担当：気象庁）
越冬隊	すずき ふみのり 鈴木 史記	隊員（気象担当：気象庁）
越冬隊	こばやし だいき 小林 大曙	隊員（気象担当：気象庁）
夏隊	さかもと りょうた 阪本 亮太	隊員（測地担当：国土地理院）
夏隊	かまかり ゆうき 鎌刈 裕紀	隊員（測地担当：国土地理院）

南極OB会茨城支部

第31・48次越冬隊	なかじま ひであき 中島 英彰	支部長（国立環境研究所）
第53・62次越冬隊	はいじま こうじ 配島 宏治	幹事長（気象庁）

【第68次南極地域観測隊スケジュール】

令和8年10月19日	先遣隊が空路で南極に向けて日本を出国
11月26日	本隊が空路でフリーマントル（オーストラリア）に向けて日本を出国
12月1日	南極観測船「しらせ」にて、昭和基地に向けてフリーマントルを出港
令和9年3月23日	夏隊 帰国予定
令和10年3月下旬	越冬隊 帰国予定

【その他】

毎年、市内の各研究機関等から南極地域観測隊員が派遣されており（平成25年から令和8年の14年間で延べ67名）、つくば市職員も第55次越冬隊隊員として参加しました。なお、毎年、市民向け出前講座において、南極地域観測隊の活動や研究成果をご紹介します。

【取材方法】

取材をご希望の際は、10月2日（金）12:00までに、問合せ先まで御連絡ください。

気象庁（越冬 気象担当）：島村 翔（しまむら しょう）

＜プロフィール＞

1986 年生まれ、岡山県出身。

2011 年に気象庁入庁後、2014 年 4 月から現在までつくば市在住。

2017 年 第 59 次南極地域観測隊に参加（越冬 気象担当）。

第 68 次南極地域観測隊では気象観測（チーフ）を担当。憧れの地、南極で再び仕事ができることになりました。チームが最大限の観測成果を出せるよう、しっかりマネジメントをして支えます。



気象庁（越冬 気象担当）：鈴木 史記（すずき ふみのり）

＜プロフィール＞

1992 年愛知県津島市出身。

2017 年に気象庁入庁後、2024 年 4 月から 2026 年 3 月まで気象測器検定試験センターに勤務。在籍時は、つくば駅から洞峰公園を經由してランニングで通勤していました。

第 68 次南極地域観測隊では、定常観測の気象観測を担当。長年憧れていた南極での活動に参加できることを大変光栄に思います。仲間と協力しながら、業務を確実に遂行し、気象観測に貢献したいと考えています。



気象庁（越冬 気象担当）：小林 大曙（こばやし だいき）

＜プロフィール＞

1993 年長野県安曇野市出身。

2019 年に気象庁入庁後、2023 年 4 月から現在までつくば市在住。

第 68 次南極地域観測隊では、オゾン観測を担当。入庁以来、長年希望していた南極での業務に従事することとなり、喜ばしい反面、身の引き締まる思いです。南極の厳しい環境の中でも、仲間と協力し合い、精度の高い観測データを提供できるよう精一杯努力します。



国土地理院（夏隊 測地担当）：阪本 亮太（さかもと りょうた）

＜プロフィール＞

1982 年生まれ、茨城県出身。

2005 年に国土交通省国土地理院に入省後、北海道や沖縄など各地で勤務し、2017 年からはつくば市に在住。

第 68 次南極地域観測隊では、重力測定をはじめとする測地測量やドローンを活用した空中写真撮影を実施する予定。

南極という特殊な環境の中で正確な観測を行えるよう努めるとともに、これまで経験したことのない自然や景色の魅力を肌で感じたいです。。



国土地理院（夏隊 測地担当）：鎌苅 裕紀（かまかり ゆうき）

<プロフィール>

1984 年生まれ、大阪府出身

2011 年～ 国土地理院に入省

2017 年～ 国土地理院北陸地方測量部に異動（3 年間富山市内で勤務）

2019 年～ 国土地理院（つくば）に異動、つくば市在住。

入省以来、転勤の 3 年を除き、13 年間つくばに居住。

国土地理院では、主に GNSS（GPS のように人工衛星を利用して地上の現在位置を計測するシステムの総称）に関する業務に携わる。第 68 次隊では測地定常観測を担当。普段の業務での知見も活かしつつ、歴史ある南極観測の事業に尽力したいと考えております。



【参考】

南極 OB 会茨城支部長

国立環境研究所（第 31 次越冬、第 48 次越冬参加）：中島 英彰（なかじま ひであき）

<プロフィール>

1963 年大阪府生まれ。東北大学卒業。東北大学大学院博士課程 1 年次に、第 31 次南極観測越冬隊に参加。オーロラ観測に従事。

帰国後、南極観測で得られたデータをまとめて、理学博士号取得。

1993 年～名古屋大学太陽地球観測所助手。

1997 年～国立環境研究所へ異動、現在に至る。

趣味は登山、楽器（テナーサックス）演奏。日本百名山の全山登頂まで残り 2 座。



南極 OB 会茨城支部幹事長

気象庁（第 53 次越冬、第 62 次越冬参加）：靄島 宏治（はいじま こうじ）

<プロフィール>

1981 年東京都出身。2007 年に気象庁に入庁。

2011 年第 53 次南極地域観測隊に参加（越冬 気象担当）。

2013 年に気象測器検定試験センター配属となったことよりつくば市民。

2020 年第 62 次南極地域観測隊に参加（越冬 気象担当・観測主任）。

令和 7 年度から南極 OB 会茨城支部幹事長として、観測隊員を応援。

